

令和七年

松香 Komunikado

六月八日発行
第三百一十七号

大本松香分苑
豊橋市南牛川二一・三一・二〇
電話 ファックス
〇五三二・六三・二二七三
発行責任者 山本 健

令和七年六月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiu!

ただいまは、令和七年六月度の月次祭を、すがすがしく斎行させて頂きました。又、相談役故山本文子の四年祭も続いて斎行させていただき誠に有難うございました。準備して下さった方々、又オンラインを含め参拝して下さいました皆様方に、御礼申し上げます。

直会の時間を利用して、相談役の生前の講話のビデオを、皆様にご覧いただけるよう準備していただいておりますので、是非ご覧ください。相談役も喜ばれると思います。

横山様には、直会後二時ごろから、「美は、神の光を宿すこと」副題として、心と肌を整えるひととき」と題して、講話と美顔エステの実演もしていただけます。講演後は下の部屋で、人数は限られますが、体験もできます。

今日は、遠方からもご参拝くださいまして、ありがとうございました。又、横山一美様のご紹介で、初めて

五月三十一日から六月二日まで、横山様と横山様の友人の加藤様と私の三人で大道場修行を第三日目の夜まで受講しました。横山様は、靈を感じたり見えたりする体質で、聖地や万祥殿そして教主様のお光を強く感じられたようです。初めての聖地参拝の感想も講話の始めに聞かせて頂ければと思います。

加藤様も、お仕事のお忙しい中、やりくりして受講していただきました。おかげで無事三日間を受講出来ました。

時節が迫っているのか、大神様に関心を持たれる方が多くなってきており、大道場修行においても、未信徒の方の受講が増えてきているようですがございます。皆様も、神さまに関心のある方には、大道場修行の受講を是非おすすめしていただきたいと思います。

次に、六月度の天恩郷万祥殿の月次祭に、参拝させていただき、道場修行者代表としてお玉串もさせて頂きました。

人類愛善会発足百周年の記念祭典も合わせて行われ、

祭典後には愛善歌の奉納があり、記念講演として「アフガニスタンに命の水を」中村医師が目指した平和とは「が開催されました。私は修行中であり参加はできませんでしたが、PMS（ピースジャパンメディカルサービ

ス）総員長補佐並びに支援室室長の藤田千代子氏のすぐ後ろに、座つていましたので、すぐ前でお会い出来ました。中村医師の事業を継続されておられるとのことでし。お顔には優しさと、笑顔の中にも大変な苦労をされて活動されている様子がうかがえました。月次祭の動画は、大本公式ホームページに掲載されておりますので、ご覧ください。特派宣伝使の前田様が、メールでアドレスを送つてくれて居ります。

今回の道場修行の受講と月次祭の参拝で、又一つ自分の悪い癖（副守護人）を救つていただいたように思いました。一緒に受講させていただいた、私も大変お陰を頂きました。

松香分苑の初代分苑長の故松本先生は「大本の神様が素晴らしいことがわかり、実際にお蔭を頂いた方は、その喜びを一人でも多くのご因縁のある方に、お伝えすることが大切である」といつも仰つておられました。この言葉を受けて、私も、聖地へのご案内を、祈りつつさせて頂いております。

最後になりますが、本日は、月次祭並びに相談役の四年祭、ご参拝誠に有難うございました。
以上で、ごあいさつとさせていただきます。